

□□□□□□□□□□□□■●■●■●■●■●■●■●■●■●□□□□□□□□□□□□

平成 20 年

メールマガジン 『日本人の98%は知らないタイ株投資!』

Home Pageはこちら 「タイ株(アジア株)と海外投資」 <http://thaikabu.net/>

Blogはこちら 「アジア株(タイ株)と海外投資」 <http://toatoa.jugem.jp/>

発行者 阿部俊之 (タイ・日本在住)

□□□□□□□□□□□□■●■●■●■●■●■●■●■●■●□□□□□□□□□□□□

タイ株・タイ経済情報 第37号

今回初めて登録してくださった皆様ありがとうございます。

毎号読んでいただいている皆様。ありがとうございます。

タイ株ブログ運営しています、阿部です。

ホームページを少しリニューアルです。

<http://www.thaistock.jp/>

こないだタイと日本を行き来している社長さんらと懇談会をしましたが  
「バンコクは今すごい勢いで変わってきているね」と驚いていました。

現在タイ政府でも大量輸送機関の新設・延伸などを進めていますが、  
これらが早急に完成すれば、タイは（バンコクは）見違えるほど変わると感じます。

(このあたりの解説はタイ国内ニュースで。)

もうすでにご存知の方が多いでしょうが、  
米連邦準備理事会（FRB）は3月18日火曜日の連邦公開市場委員会（FOMC）で、  
FFレートの誘導目標を0.75%引き下げ、2.25%まで下げることが決定しました。

かなり緊迫感を増してきたアメリカ経済ですが、  
タイ中央銀行側でもこの大きな金利下げの影響を受けるかたちになります。

3月17日月曜日にはタイ中央銀行のアチャナ副総裁がコメントし、  
タイの政策金利は据え置く方針を示しています。

この背景にはタイ国内の物価上昇の率が2008年度から急上昇しています。  
2008年の2月の消費者物価指数（CPI）上昇率07年同月比で5.4%にもなっています。

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

政策金利の引き下げはインフレ圧力を高める側面を持つため慎重になっているようです。

しかしながらタイの金利とアメリカの金利差が広がるのも好ましいことではなく、パーツ高抑制のためにも政策金利の引き下げの要望が高まっているのが現状です。

3月はこのレートで据え置き、4月、5月には利下げの可能性があるとしています。

それでは第37号に入ります。どうぞ宜しくお願い致します。

(※ こちらのメールマガジンは転送可となっています。  
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にどんどんお伝え下さい。)

何か新しいことを始めようと思われている友人の方、  
タイへ旅行計画を立てられている友人の方など

そのような方にもブログとメールマガジンはもしかしたら  
役に立つかもしれません。

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

過去のバックナンバーなどをご覧いただくとある程度分かると思うのですが、

これからはご質問が多かったものを順に解説していこうと思います。

多かった質問はまず「ハードルの高さ」です。

Q タイ株は初期投資額どのくらいでスタートすると良いですか？

A これはお持ちの資産運用の額にも寄りますが、  
タイ株は初期投資額が低いのが特徴です。

タイの商業銀行最大手、バンコク銀行（BBL）の株価は3月18日現在で  
一株が128バーツでした。インターネットでの最低取引単位は100株ですので、  
12800バーツ+手数料が必要です。（1バーツ=3.2円）としてみると  
40960円+手数料になります。

日本から購入してしまうとまだ手数料、為替などが高くなってしま  
うのがやや残念なところですが・・・

ただ、一方では直接タイへ訪問して口座開設している

日本人の方も激増していると言うお話も良く聞くようになりました。  
これは売買手数料の差と為替手数料の差が大きく影響しているようです。

基本、日本株のように数十万単位ではないので、敷居は高くないと思います。  
最低の投資額が低いと言うことは、銘柄の選択肢の幅が広がることも  
意味しています。

□□ No2 タイ株上級者編です ■■

タイ株の上場企業詳細のコーナーを作りました。

●● クルンタイカード(KTC) 037 です。 ○○

タイのクレジットカード大手です。クルンタイバンク (KTB) 系列。  
タイの銀行第2位の国営クルンタイ銀行傘下でカード利用加盟店はおよそ  
9000店舗です。  
タイの消費者金融市場において大きなマーケットシェアを占めている企業で、  
クレジットカード業務、個人向け無担保融資、損害保険代理販売業務があります。

各支店はいずれもおしゃれな雰囲気です統一されておりBTSなどの各駅の近くに  
進出しています。タイにある様々な企業提携をすることでカードの利用価値を  
高める方針です。

つい最近のニュースでは  
JCBとの提携カード発行を開始。  
タイ国内の日本食レストランや日本国内でのショッピングが可能。  
日本好きタイ人を取り込み、2008年度はおよそ10万枚発行を目標にすると  
しています。

KTCはオフィスへ訪問した時はたいへんモダンな雰囲気です、仕事場の席も  
フレキシブル、自由度の高いオフィスでした。

□□ No3 タイ国内ニュース編です ■■

2008年3月6日、サムマック新政権は大量輸送機関の早期建設の実施計画を  
発表しています。

3月4日の大型減税、物価抑制政策に続いてタイ国内インフラ整備を早めていくとしています。

1980年代から、タイ国内に自動車が普及していくにしたがってバンコク都全体で慢性的な交通渋滞が増加するようになりました。

そのためタイ政府でも1999年にBTS（バンコク トランジット システム）高架モノレール・スカイトレインを開通。そして2004年には地下鉄MRT（マス ラピッド トランジット）が営業を開始。

しかしながらまだまだバンコクの渋滞は解消されてなく、スクンビット通り、シーロム、ラマ4世通りなどは毎朝大渋滞を引き起こしています。

「今後の大量輸送機関インフラ建設の流れ」  
すでに建設が始まっていて、完成の目処が（おそらく）立っているところは、

BTSスクンビット線 オンヌット駅 → ベーリン交差点までのライン。  
東に伸びる路線です。

BTSシーロム線 サパーンタクシン駅 → バンケー方向までのライン。  
西に伸びる路線です。

エアポートリンク パヤタイ駅 → スワナブーム新国際空港駅までのライン。  
こちらは空港までつながる路線です。

他にも地下鉄MRTではブルーライン（既存の地下鉄）の延伸建設工事、そしてパープルラインの新設工事も具体的な計画が進んでいます。

もう一つBRT（バンコク ラピッド トランジット）と呼ばれる高速バスシステムもあります。これは専用路線を敷いた高速バスの運行になるようです。チョンノンシー駅からラマ3世通りを通り、バンケーまで向かう計画です。

ラマ3世通りは2007年ごろから毎朝大渋滞で、アソークに向かう方向では出勤時間が遅れると抜け出すのに相当な時間を要するようになってしまいました。

これらの大量輸送機関の完成後、バンコクの不動産事情や、交通状況がどのように変化するのか、非常に楽しみです。



過去のメルマガバックナンバーを一時的に公開しています。

ご興味ある方は再び最新号までにする予定ですので、

今のうちにご覧頂けると幸いです。

最後までお読みいただきましてありがとうございました。

タイの企業を詳細に解説した

「タイ株完全マニュアル企業情報編41社」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990500/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイ株取引をどうやって始めるかを解説した

「タイ株完全マニュアル口座開設改訂版」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990551/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイで働いた経験やタイビジネスをまとめた

「タイビジネスは止められない」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4778200527/asianstocktha-22/ref=nosim>

そして

タイの企業をデータよりもその背景を解説した

「日本人が知らなかったタイ株」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

---

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□■□□□□□□□□□□

阿部 俊之

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

